



INGING MOTORSPORT



# INGING NEWS PAPER

INGING MOTORSPORT OFFICIAL WEBSITE OF PAPER [<http://www.inging.co.jp>] インギングニューズペーパー



# 2台で上位 ファイニッシュ

## 石浦選手、ポイントリーダーを死守



Race Report

Round.5 AUTO POLIS 9/10 Final 決勝 2017年9月10日 オートポリス

TAKE FREE

NEXT RACE ROUND.6 SPORTS LANDO SUGO 9/23.24

Support by cyber net  
株式会社 サイバーネット

# 2台揃って、上位入賞!



## Race Report 決勝 2017年9月10日 オートポリス Round.5 AUTO POLIS 9/10 Final

天候:晴れ | コース状況:ドライ | Time [ 1:24'37.628 ] / Best [ 1'31.885 ]

週末を通して好天に恵まれたオートポリス。決勝日も朝から秋晴れの空が広がり、午前8時50分からのフリー走行は気温24℃、路面温度28度というコンディションでスタートした。昨日までは予選に向けたセットアップを進めてきたが、ここでは決勝に向けたログブックをチェックするマシンが多く、P.MU / CERUMO-INGINGの2台もソフトタイヤ、ミディアムタイヤの両方で連続走行し、決勝に備えた。決勝レースのスタート時刻は、通常より早い午後1時5分。気温29℃、路面温度35℃というコンディションで54周のレースのスタートが切られた。P.MU / CERUMO-INGINGの2台を含め、上位陣のほとんどはミディアムタイヤでスタート。国本はソフトタイヤでスタートした1台に先行されたが3番手に留まり、石浦は他車のスタートミスもあり1つポジションを上げ7番手にオーブンニングラップを終えた。その後、ソフトタイヤで後方からスタートしてきた中田以降のマシンがポジションアップしてきたため、国本はじわじわと順位を下げることに、石浦は15周目と早めのピットインでソフトタイヤに履き替え、クリアな状態でフレッシュな戦略を採り、暫定17番手、ピット作業を済ませた中では7番手でコースに復帰すると、好ペースを維持して周回数を重ねていた。国本は石浦と反対に、39周終了までピットインを遅らせた。全車の中でも最終にピットに戻りソフトタイヤに履き替えるも、6番手でコースに復帰。この時点で石浦は4番手まで順位を挽回していた。国本は石浦を追いかけろべく、まずは目の前の小林可夢偉選手を攻撃にかかったが、巧みなブロックに阻まれ数回の時間をかけてしまう。それでもスピードに勝る国本は懸命にチャンスを探し、45周目のホームストレートで片輪をコースサイドにはみ出させながらもなんとか小林選手を抜き去った。その後すぐに石浦に追いつき、チームメイトとの4位争い、そして表彰台への追い上げが始まった。2台の戦いは常に1秒を切る激しさを、一時は国本が石浦をオーバーテイクをしたかと思わせるシーンもあったが、後続から追いついてきた車と三つ巴になったこともありオーバーテイクは叶わず。そこから石浦は終盤要にペースを上げ徐々に3位を追い上げていったが、抜き去るにはラップ数が足りず、4位でチェッカーを受ける。国本はその後も続いていた後続車とのバトルを制して、5位でレースを終えた。石浦はポイントリーダーを守ってSUGO戦に入ることになり、国本は新しい5位となったが、富士戦からのポイント獲得でランキングは8位に上昇、2台揃っての上位入賞により、チームランキングでも今シーズン最大のトップに立った。

石浦 宏明 / H.Ishiura

「朝のフリー走行で予選よりソフトタイヤでの走りが多く、もともと競いやすい条件を捉えれば優勝を狙えるぐらいの予感も入ってレースに挑みました。やはり昨日と同じようなミディアムタイヤでのペースが良くなく、早めソフトタイヤに履き替えることになりましたが、周りのドライバーの軌道に対して少し遅いが出てしまい、ピットインの判断が遅れてしまったことに悔しさが残ります。ただ、今回は速さが足りずに進んだ中で64位で遅らされたので、悔しいというよりは小気よく進んだかと思っています。でも、表彰台には上がれたかったですね。予選での速さを活かしたかったので、SUGOで同じ結果にはならないよう、この週末をしっかり分析したいと思います！」

国本 雄資 / Y.Kunimoto

「昨日とあまり変わらないスタートになったのでどのままで行けるかと思ったのですが、ソフトタイヤでスタートしただとゴール付近までレースのペースが落ちて、速く走らせてほしい。2ストップ作戦だろうと予測できたマシンは無理をせずに先行させましたが、いつの間にかかなり順位を下げていて、このタイミングでピットに行っても意味がないので、終盤にいい状態でソフトタイヤを履き替えて作戦にしました。タイヤが新しいソフトタイヤはかかりますが、1コーナーからいいペースで走ることができて良かったです。今週末はいい結果になりました。クルマの調子は今シーズンでいいと思うので、次も好調を維持していきたいです！」

総監督 浜島 裕英 / H.Hamashima



「石浦については順位も上げてポイントリーダーを待つことができましたが、国本が順位を下げてしまったことは、これから分析をきちんとしなければいけません。ミディアムからでもソフトからでも、駆動軸の対応で好成績が出ないという点も感じられるレースでした。SUGOではそろそろ表彰台に上れるよう頑張っていきたいと思います！」

監督 立川 祐路 / Y.Tachikawa



「国本はフロントローからのスタートで、ポジションを下げることはありませんでした。結果で言えば、ソフトタイヤでスタートしたドライバーや車中のピット戦略をとったチームに押し出されてしまいました。国本のスタート直線に乗ることもあれば、今後はもう少し前からスタートからいい流れが出ていくという判断をしました。2スベックタイヤの状況は明らかに悪化が早く、思ったより結果で落ちることが多かったです。SUGOは昨年と同じく、今週末をどうにかしたいという、いい結果を残したいと思っています！」

### 暫定順位 Interim Rank

石浦 宏明 — 1st. 国本 雄資 — 8th.  
Next will be the final race..